

# Architects' style

建築士 こおりやま

No.68 令和5年3月発行

## 支部理事会

<支部執行部> 令和4年4月26日(火) 郡山市総合福祉センター

これまで理事会は昼食をとりながらの審議だったが、コロナ禍を考慮し、理事44名中25名の出席で短時間の審議のみが行われた。

会では支部総会を通常通り開催するか、昨年度同様、書面決議とするかが話し合われ、書面決議とする事が決定した。

## 支部総会

<支部執行部> 書面決議

理事会の決定通り書面決議が行われ、可決された。



第64回 建築士会全国大会「あきた大会」集合写真

# 東北ブロック会 女性委員会 ふくしま大会・女性建築士のつどい

<女性委員会> 令和4年5月28日(土) 郡山市民交流プラザ

コロナ禍で多くの大会が延期や中止となり、盛大に他県の方々をお迎えするばかりだった本大会の当初の企画も一度白紙に戻りました。延期はされたものの、企画を練り直し、リアル参加者の人数を制限する形でZoomウェビナーを利用したWEB配信を実施、全国から総勢105名に参加頂きました。

テーマは『ふくしま発SDGs』。

【基調講演】では、日本大学工学部土木工学科 環境生体工学研究室 中野和典教授を講師に迎え、「水を浄化するロハスの花壇の開発と応用」と題しご講演いただきました。

産業革命により生活が豊かになった反面、資源枯渇、人口の急増、環境と健康問題が浮き彫りに、このような背景から、日本大学工学部では、健康で持続可能な生活と社会を実現するためのロハス工学に取り組まれている事。電気や水道に依存しない、雨水の利用・自然の浄化作用を活用した排水処理システムによる「ロハスの花壇」「ロハスのトイレ」はインフラが寸断される災害時の支援としてのトイレや、上下水道が整備されていない開発途上国のトイレ問題解決にも役立ち、SDGsの『6. 安全な水とトイレを世界中に』と『11. 住み続けられるまちづくりを』につながる取り組みであるという事を学びました。とても興味深いお話に質疑応答も飛び交いました。中野教授には、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

休憩後、【活動報告】を宮城県、山形県、福島県福島支部と郡山支部が行い、【被災地報告】では、村越氏による「福島の復興～光と影、そして現在(いま)～」と題し浜通りの現状を撮影した動画を10分間視聴いただきました。

今回の開催にあたり、会場の運営だけでなく、機材の準備や調整、Zoomの操作や発表まで全てを自分達で賄った為、当日は皆大忙し。翌日の私は自宅でナマケモノと化しておりました…！(笑)



## 地域実践活動 Arcolle 2021表彰式

<青年委員会> 令和4年6月7日(火) 郡山市総合福祉センター

2021年度の地域実践活動として青年委員会で開催された「レポートコンペ アーコレ2021 ～テーマ『道具』」において、全部で25点の応募があり、うち郡山支部からは9名応募、2名が見事受賞を果たした。

定期的に行われている役員・各委員長会議に先立ちこの表彰式が開催され、高橋支部長が代理で賞状と副賞の授与を行った。

尚、受賞者は以下の通り。

青年委員長賞 『Morpholio Trace』 鈴木 利衛 氏

審査員賞 『シャチハタスタンプ』 土屋 彩子 氏



## 本部通常総会

<本部執行部> 令和4年6月17日(金) 喜多方プラザ 大ホール

昨年度は参加者を限定して開催された本部通常総会だったが、本年度は通常開催され、県内各地より155名がリアル参加し、役員改選が滞りなく行われた。

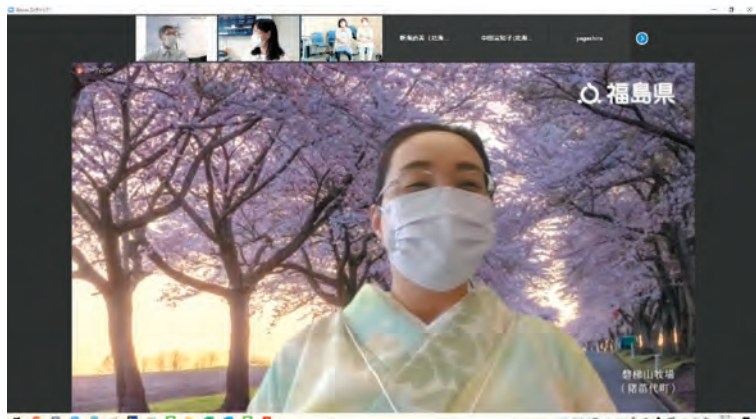
郡山支部からは18名が参加し、久しぶりの再会を大いに喜んだ。

夕方からの懇親会は開成の“Best Table”を会場に開催され、コロナ禍を考慮してのテラス席にて新鮮野菜たっぷりのメニューを堪能し、仲間と共に語り合うひと時を楽しんだ。



# 全国女性建築士連絡協議会

<女性委員会> 令和4年7月17日(日)～18日(月・祝) 日本建築学会建築会館



## 村越のぞみ

今回の全建女は東京会場にてリアル+オンラインのハイブリッド形式で開催され、交流会の「ワンバイワン」に福島県として郡山支部の吸水実験のPRをしてきました。また、2日目の分科会では北海道ブロック担当の「A分科会」にて、コメンテーターを務めさせて頂きました。

A分科会テーマは「オンラインセミナー役立つ運営ノウハウ伝授します！」です。

コメンテーターでもある岩手の青年委員長、応援の戸倉氏（福島県の青年委員長）と3人で他分科会の接続対応で奔走、10分遅れで開始したものの、冒頭で自分達の分科会でも会場のモニターに画面が写らないトラブルが発生。落ち着かない感じになってしまいましたが、むしろWEB配信する側のリアルな空気感が伝わったのではないかと思います。

私の方からは福島県がこれまで開催してきた3回の「ハイブリッド大会（女性建築士のつどい）」を時系列でご紹介。私達が試行錯誤を繰り返しながら何をどうやったのか、どんな機材を使用したのかをそれぞれの写真と共に、「等身大の自分達にもできる！」をテーマにご紹介して参りました。



# 令和4年度「お菓子の家づくり」

＜青年委員会＞ 令和4年7月31日(日) こども総合支援センター

青年委員会では郡山市内の小学生に建築士という資格に興味を持っていただく為に、「お菓子の家づくり」事業を行っております。令和4年度は夏休み中の7月31日(日) こども総合支援センター(ニコニコ子ども館)にて行いました。参加者は親子18組、その内児童は25人でした。

この「お菓子の家づくり」ただお菓子を使って家を組立てる遊びとは違います。

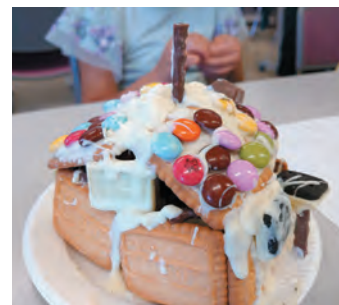
作業工程は

- ①使用する材料(お菓子)を確認します。
- ②この材料を使ってどのような家を作りたいのかを想像していただいて、設計します。
- ③設計が完了しましたら、確認申請をします。(役所担当の建築士に審査をしてもらいます)
- ④確認済証が発行されましたら、着工します。
- ⑤現場の安全管理を徹底して施工します。
- ⑥完成しましたら完了検査を受けます。
- ⑦検査済証を受け取り作業終了となります。

しんせいしょ	
監 査	
外 査	
建 員	
構 造	
その他	
備 考	
日 付	年 月 日



このような流れで実際家を建てる手順を体験していただくのです。設計が上手な子、施工を楽しむ子、十人十色。個性あふれる25作品が出来ました。又、貴重な休日にお手伝いいただいた青年委員会のメンバー、(敬称略)今泉、鈴木、清、添野、土屋、坪井、松谷、村越、吉田、誠にありがとうございました。



# 支部研修旅行（全国大会）

<会員拡大・交流委員会> 令和4年10月14日(金)～16日(日) 秋田芸術劇場 ミルハス・他



## 思いのまま

堀井 勝典

10月14日～16日まで、久しぶりの全国大会に参加。場所は秋田。秋田といえば古い話で恐縮ですが、秋田大学工学部を受験したのが、約50年以上前。当時の面影はまったくなく、街全体が大きく変わっていました。本大会は全国より2,600人の建築士が集まり成功裏に終了しました。

私は、本大会とは別に時間を見つけて、町並みを散策いたしました。100円で乗れる“ぐるる循環バス”に乗り市内を一周。そして、日の中、人っ子一人いないあの有名な“川反”を散策。当時の人々の歓喜があちこち聞こえてきた通りであったことを、想像しながら、ゆっくり歩いてきました。

宿泊地の男鹿半島までは、日本海を左に見、夕日をあびながら、そして大小様々な風車に感動しながら、目的地の温泉に到着。温泉にゆっくりつかり、そのまま就寝？



2日目のメインは普通のコースには、絶対入らない場所、小坂町。当時の“小坂鉱山”を中心とした静かな街並み。観光客もまばら。最高の時間を過ごすことができました。特に、当時のままの芝居小屋“康楽館”時間の流れと伴に残っている重要文化財を堪能。今でも歌舞伎界の大御所が、毎年ここで講演していることに驚きました。

又、明治18年に建築された“工藤家・中小路の館”は、明治期に

地主として成長し、その後、大正から昭和まで小坂町長を務めた名家である。延床125坪の農家で、当時をしのぼせる建物として現存。私の生まれた下郷町の農家に似ていて、なぜか懐かしい記憶がよみがえりました。

又、今回の一番の思い出は、夜お邪魔した“ホルモン焼き・幸楽”味付けが最高のホルモン焼き、女将さんの最高のサービス。壁に掛けていたのは、歌舞伎役者、有名歌手の写真一覧。女将の秋田弁を聞きながら楽しい一時を過ごすことができました。当然ながら皆さんの食べっぷり、飲みっぷりには、ただ感服！

さて、いよいよ最終日。紅葉を満喫しながら、バスは一路“十和田湖”へ。快晴の中で遊覧船に乗り、湖の周りの景色をしばし楽しみ、一時間ほど、久しぶりの昼寝。最高の癒やしの時を過ごしました。

そしてあの有名な湖畔に立つ高村光太郎制作、谷口吉郎も関わった“乙女の像”昔に比べて、二人の女性が大きく見えたのは、私だけだったのでしょうか？昼食のきりたんぽとヒメマスを食べ皆完食。

いよいよ我々は、郡山を目指して、東北道を南下。バスの中では、ひたすら寝ている人、又、後部座席でウィスキー、焼酎をひたすら飲んでいる人、皆それぞれの2泊3日の研修を思い出しながら、無事郡山に帰ることができました。土会のメンバーと過ごせた研修旅行。旅の思い出として、私の脳裏に刻みこまれました。

楽しい研修、心より感謝いたします。皆さんありがとうございました。

皆さんそれぞれが、地域クーポン券4,000円分を活用して、たくさんのお土産を買って、家路に向かったことを追記します。



# 郡山支部講演会

<講習・まちづくり委員会、女性委員会> 令和4年8月4日(木) 郡山市民交流プラザ

## 『サンドイッチパネルの屋外実大火災実験について』

講師 日本大学工学部建築学科 RC構造・材料研究室 教授 Sanjay PAREEK 氏

火災での断熱材の燃焼についてはニュースで取り上げられるほど危険な要素をはらんでいます。内装材として広く普及しているサンドイッチパネル（以下、SWP）は優れた断熱性能を有していますが、可燃性断熱材を心材として用いたSWPは芯材に着火すると急激な燃焼を起こす可能性があり様々な危険性が報告されています。

このSWPは屋内での性能評価試験は行われているものの、安全性の観点から既定の試験時間を満たす事が出来なかったそうです。

そこで、大学をはじめ様々な関係各所の協力の元、屋外で試験を実施した模様を録画等しない事を条件で、今回特別にご講演頂く事ができました。

2018年8月、日大工学部のグラウンドで試験を行いました。試験後水をかけて鎮火したと思えても、次の日見に来るとまた火がくすぶっており、何度水をかけてもその繰り返しで何日も火が消えなかったそうです。芯材を見ると、未炭化部分が残っているので、何度も燃えるのだと教えて下さいました。

SWPは不燃材料として認定されていますが、ジョイント部分や傷のある部分から燃えてしまい、5分で区分外になってしまう時もあるので注意が必要とのお話もあり、参加者は食い入るように先生のお話に耳を傾けていました。

この場をお借りして御礼申し上げます。先生、貴重なご講演ありがとうございました。





## 郡山支部セミナー

<講習・まちづくり委員会、女性委員会> 令和4年9月27日(火) 中央公民館

### 第一部【報告会】女性委員会活動『建材の吸水実験報告』

### 第二部【勉強会】『戸建住宅の省エネ計算方法～外皮計算を用いない計算方法～』

講師 一般財団法人 ふくしま建築住宅センター 担当職員

【報告会】では、女性委員会でまとめた「建材の吸水実験 結果報告書」を基に、どのように実験を行い、どのような結果を得られたのか、活動を行う中で学んだことなどを報告した。

【勉強会】では、令和4年10月1日に施行される“長期優良住宅の認定制度”と“フラット35S等の基準”の見直しに向けて、建築物省エネ法とは何か、どのような建築物が対象となり等級がどう引き上げられるのかを評価方法の分類による計算方法とツールについて説明いただき、具体的に戸建住宅の簡易ルートの入力方法について留意点を交えながら解説いただいた。今回ハイブリット開催した事で、より多くの方が参加し学ぶことができた。



## 令和4年度「福島県違反建築防止週間郡山市公開建築パトロール」

<支部執行部> 令和4年10月17日(月) 郡山市内各所

令和4年度の違反建築防止週間は10月15日(土)から10月21日(金)でした。本会では毎年、郡山市と協力して建築パトロールを行っております。今年度は10月17日(月)市職員2名、建築士会2名の1組で郡山市内22箇所



を回りました。完了検査前に確認表示板を撤去してしまう事例が多く見られました。(出発式参加者：開発建築指導課 課長 鈴木様、課長補佐 草野様、建築指導係長 和泉様、主任 小林様、技査 木目沢様、技査 岸様、技査 佐藤様、郡山支部支部長 高橋、青年委員 帆刈、影山)

## 支部親善ゴルフ大会

<会員拡大・交流委員会> 令和4年11月12日(土) 郡山ゴルフ倶楽部

コロナ禍ではありますが、12名参加で例年並の参加人数に感謝しております。

結果は優勝 坪井 孝志さん、準優勝 金田 岩光さん、3位 宗像 正浩さんでした。

今回参加の皆様お疲れさまでした。また、ありがとうございました。



## 支部忘年会

<総務委員会> 令和4年12月9日(金) 郡山ビューホテルアネックス

本年度も忘年会はテーブル上の透明仕切りを隔てて、束の間のひと時を楽しんだ。昨年度より余興として行われているビンゴ大会が開催され、各自持ち寄りの景品争奪戦が繰り広げられ、悲喜こもごもの楽しい余興となった。



## 品川市長報告

<女性委員会> 令和5年1月25日(水) 郡山市役所

女性委員会が取り組んだ『建材の吸水実験』について、品川市長に報告を行い、建設工業新聞に記事が掲載された。

## 住宅センター出前講座

<女性委員会> 令和5年2月10日(金) 郡山市民交流プラザ

講師 一般財団法人 ふくしま建築住宅センター 担当職員

毎年恒例で開催していた女性限定の座談会方式による出前講座。コロナ禍の影響で中止を余儀なくされていたが、今年度ようやく再開となった。講座は9月に開催された郡山支部セミナー第二部の内容から、変更になっている部分を網羅しつつ、より実務的な内容で解説頂いた。

講座終了後は会場を移して豪華な和食に舌鼓を打ちつつ、久しぶりの「女子会」のおしゃべりに華を咲かせた。



## 『今そして未来を支える』

東北ポール株式会社  
郡山営業所長 和知 与市

会員の皆様には日頃より弊社製品をご愛顧賜り心より御礼申し上げます。

弊社は、1951年(昭和26年)8月、コンクリートポールの製造を目的として福島県白河市に設立されました。以来、品質の向上と製品の開発に努めてまいりました。1976年(昭和51年)に本社機能を宮城県仙台市に移し東北6県、新潟県、関東地区を営業エリアとしてご対応しております。

今日ではコンクリートポール・パイルをはじめ、各種コンクリート製品の生産・販売・施工を行う総合メーカーとして、皆様から確かな技術と安心できる品質との高い評価を頂いております。

皆様にお世話になっております基礎事業(コンクリートパイル・杭打工事)につきましては、様々な場所に様々な規模の施設・建物が求められています。そのひとつひとつに災害にも負けない堅固な基礎が不可欠です。弊社は、街の未来をしっかりと支える理想の基礎を追究・提供しています。

社名であるポール(コンクリートポール)は、人々が活動する様々な生活の場をサポートしています。電気を送る電柱、異動通信関係のアンテナ柱、運動場等の防球ネット柱など、弊社は、多様化する社会のニーズに対応した高品質のコンクリートポールを提供しています。

又、地中線の中継点として使用される地中送電線用プレハブマンホール。工場・道路など様々な音の氾濫から生活環境を守るための高性能防音パネル。海岸や河川などの護岸を目的に設置する消波ブロック等の製品も取り扱っております。

杭打工事、コンクリートポールについて問合せ等ございましたら弊社、東北ポールへご一報頂ければ幸いです。特に福島県内に於きましては、数多くの施工実績、資料等も取り揃えております。

これからも皆様から安心してお使い頂けるよう、高品質なコンクリート製品を提供し、安全で安心な社会作りに貢献してまいります。何卒、倍日のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 『杭基礎のために、できることすべて』

ジャパンパイル株式会社  
東北支店 南東北営業所長 平中 利明

既成コンクリート杭、場所打ち杭、鋼管杭の三種類がある杭基礎。当社はこれらすべてを扱う総合的な杭基礎建設会社です。全国で平均2000件以上/年の基礎建築に一貫対応しております。

- 設計部門  
専門的かつ幅広いノウハウによって、建物と地盤にあわせた最適な基礎を設計しご提案させていただいております。
- 製造部門  
既成コンクリート杭の自社生産拠点は全国10工場での生産供給体制によって高品質製品を製造しております。  
従来の杭の材料強度は85N/mm<sup>2</sup>でしたが105N→123Nと高強度化しており、最新設備の工場では、140N/mm<sup>2</sup>まで製造可能となっております。
- 施工部門  
現場ごとの的確な工事計画をプランニングし、基礎建設の施工をトータルに管理することももちろん、自社施工機械を北海道、関東、関西、北陸、九州を拠点に保有し、一貫した施工体制を整えております。

### 創業100年

大正12(1923)年ジャパンパイルのルーツのひとつ武智工務所の創業者がコンクリート矢板を打設中に、凹凸がついた成形不良の矢板の打ち込みが困難だったことからヒントを得て、節をつけた特殊な杭(武智杭)を開発しました。国内外で特許を取得したこの武智杭は武智工務所で製造・施工を行いました。これが、既成コンクリート杭を企業化した最初の例といわれています。

開発当初、断面は四角形が基本でしたが、三角形や六角形なども製造され、現在は中空円筒形が基本となっております。

### アジアパイルホールディングス株式会社

ジャパンパイルの持ち株会社として設立され、グループ企業にベトナムとミャンマーのコンクリートパイルの製造・販売・施工会社を有し、現在はベトナムを中心として事業展開しております。

日本で培ってきた建設基礎の高度な技術力を武器にアセアン市場に進出し、社会へそしてアジアへの更なる貢献を目指しております。

平面概算から、お手伝いいたしますので、お気軽にお問い合わせいただけます様今後とも、よろしくお願い申し上げます。



## 『すべての基礎工事を お任せください』

有限会社福島基礎  
代表取締役社長 鈴木 功一

拝啓 師走の候、皆様におかれましては益々のご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

弊社は既製コンクリート杭の柱とした業務を進める一方で、基礎杭検討(コンクリート杭、鋼管杭、柱状改良杭)の設計段階での計算等、地質調査からのご協力をさせて頂いております。

近年では福島県中を通りにおかれましては物件の低迷また建設業界への若者の就職離れがあり、業界全体が冷え込んでいく傾向があります。

今ここで【次の世代に繋げる基礎作り】の為に丸となり業界を盛り上げて、行きたいと思っておりますので、今後とも格別のご支援、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



**POINT3** **合格実績**

日建学院のここぞここぞ

**POINT 01** 平成元年から令和3年の1級建築士合格実績  
この33年間に誕生した1級建築士の半数以上が日建学院の受講生です!

**POINT 02** おかげさまで10倍達成!  
外部調査機関調べ  
建築士講座  
No.1

**POINT 03** 私も日建学院で1級建築士を取得しました!  
だからこそできる  
受講生ファースト!  
コンプライアンスを重視し、  
徹底的にサポート!

受講生ファーストの日建学院

日建学院 平成元年~令和3年の合格実績  
1級建築士 (全員) 165,868人  
**93,110人**  
この33年間に誕生した1級建築士の半数以上が日建学院の受講生です!

1級建築士 合格率 56.1%

建築士講座 No.1

リレーノブ満足度  
使用教材の満足度  
カリキュラム充実度  
価格の満足度  
設備・体験学習施設の充実度  
職員の対応サポート力  
担当者の最適なコース選考力  
感謝対象の満足度

総合満足度 満足満足度 No.1

外部調査機関調べ

建築士講座 No.1

2025

日本マーケティングリサーチ機構 調査年度2024年09月期 調査満足度調査

代表取締役 馬場 栄一

1992年3月 専任講師 建築士講座 建築士講座 卒業  
1992年3月 本校講師 建築士講座 建築士講座 卒業  
※現在職中(1級建築士)

各種資料請求・お問い合わせはお気軽にどうぞ!

**郡山校 TEL: 024-941-1111**

あなたの夢に  
日建学院

2023.3 No.68 — 建築士こおりやま

11

# 支部ホームページ原稿募集のお知らせ

支部ホームページに掲載する記事の原稿を募集致します。  
募集原稿と詳細は以下の通りです。

## 会員紹介ページ

- ①会員の氏名
  - ②会員より一言（160文字程度：内容不問）
  - ③写真（極力本人の写っている物。正面を向いているかは不問）
  - ④勤務先名と所在地、電話番号（掲載を希望しない場合も明記して下さい。）
  - ⑤勤務先、自分のブログのURL等
- ※④、⑤は掲載を希望しない場合、その旨を明記して下さい。

## 応募方法

メールにて事務局宛に送信して下さい。

写真は必ずjpeg形式のデータをメールに添付して送信して下さい。Word等に貼り付けたデータのみだった場合は、掲載データ形式の都合上、応募無効とさせていただきます。

郡山支部事務局E-mailアドレス：[info@kenchikushi-koriyama.com](mailto:info@kenchikushi-koriyama.com)

原稿は随時受け付けておりますので、沢山のご応募、お待ちしております。

福島県建築士会郡山支部  
情報・広報委員会



## 編集後記

まもなく桜の咲く季節になります。

まず、広報誌の発行が遅れてしまいましたこと  
お詫び申し上げます。

今回は各委員の活動及び賛助会のPR等を掲載  
しました。

なかなか集まる機会が少ない中、ご協力いただき  
ました皆様ありがとうございました。

## 福島県建築士会 郡山支部

郡山市大町一丁目2番23号  
KIK'BビルW22(西2階)

TEL & FAX 935-2151

URL：<http://kenchikushi-koriyama.com/>  
Mail：[info@kenchikushi-koriyama.com](mailto:info@kenchikushi-koriyama.com)